

## 山行報告書

山行管理部

**ウイークデイ 能勢妙見山 9月24日** CL山口 SL川井 参加10名  
妙見口駅出発 9:45 初谷溪谷コース 途中 点呼、体操して出発 10:00  
～12:30 能勢妙見山（昼食、トイレ） 出発 13:00 上杉尾根コース  
14:40 下山口解散 全員で妙見口まで歩く。

1週間前から降雨予報。3日前には台風12号発生で荒天が予想され、参加者の皆様には前々日に中止可能性大のメールを送信しましたが、前日には台風が逸れてまさかの天気好転！曇天の下、山行実施できました。これも、私の晴れ女パワー故かなと自負する担当者...（笑）

登りは初谷溪谷コース。彼岸花やコスモスが点在する田園風景に初秋を感じてのスタートでした。初谷川に沿って何度も沢渡りを繰り返しながら自然満喫のコースです。

下りは上杉尾根コース。ひたすら下る稜線コースです。右手に広がる広葉樹の緑に癒されました。

新しい会員の方が参加されていたので、上り下り共に休憩を多めに取り、ゆっくりとした山行でした。参加の皆様、お疲れさまでした。

（川井 記）

**公開山行 生駒縦走前半 国見山(283m)・交野山(341m) 9月27日(日)**

CL島袋 SL福永 松本(光)北 参加者14名  
JR津田駅(8:50発)～登山口(9:25発)～国見山(10:05着)～交野いきものふれあいの里(10:40着)～交野山(11:10着)～くろんど園地内第1キャンプ場(12:35着・昼食10月山行紹介・13:30発)～月ノ輪滝～京阪私市駅(14:45着)

6か月ぶりの公開山行。今までとは違い少人数での山行。1班8名2班6名に分かれ、登山口で3密を避けての体操を行った。登山口から、なだらかな登りの山道で、すすきや赤白の彼岸花が咲いていて、秋を感じた。国見山と交野山の頂上近くになると急坂になるが、頂上に着いたときの大阪平野や京都の山々の眺めで、急坂のしんどさは吹き飛んだ。途中田畑のある道を歩くと、稲穂のにおいも感じられた。

くろんど池キャンプ場までもうすぐという時に、雨が降ってきて、びっくり。でも、すぐ止んで、昼食のときには、ベンチも乾いていて、ほっとした。何度か歩いた生駒縦走歩道だけれど、感慨深い公開山行になった。

（北 記）

## ターブルドート 葛城古道 10月4日(日)

CL 稲田 理 SL 石野明子 SL 豊村寿人 参加 20 名

近鉄御所一風の森バス停 10:20—高鴨神社—高天彦神社—橋本院—極楽寺—  
一言主神社—九品寺—六地藏石仏—近鉄御所 3:50 解散  
薄曇りながら秋を感じる日。

歴史ロマンを満喫できたこのコースはなかなかのものでした。金剛山、葛城山には登っていますが、その山麓の散策は初めてであり期待一杯でした。黄金色に実った稲穂、真っ赤なヒガンバナ、やまの緑これらのコントラストはまさに絵に描いたようでした。宿場町として栄えたレトロな街並みは疲れを吹き飛ばすほどでした。植物観察や写真撮影で少々列は乱れましたが、結果、ソーシャルディスタンス取れたのかもしれない。20名の参加者がほぼ予定通り完歩しました。

(豊村 記)

## サロン&ファミリー 淀川ハゼ釣り 10月4日 参加 10名(内一般2名)

【山行日】 晴れ 中潮 満潮 16時

【場 所】 阪急十三駅→十三大橋下

【参加者】 CL 高桑, SL 宇野, 木村順, 里, 森下, 谷村, 酒井, 林景(+孫 2人)

### 【コース記録】

09:00 阪急十三駅— 10:00 十三大橋下 — 釣り開始

12:00 納竿 — 昼食&天ぷら調理 — 14:00 解散

### 【内容】

- ・十三の地名の由来の学習
- ・ハゼ釣りの実技&賞味

### 【感想】

今年も林さんが小五の孫ら2人を連れ参加、子供の参加が2年続いたことを嬉しく思う。

朝の釣餌屋では毎年のように聞く『もう店を終うかと思っている』の情報通りに最初に行った店は閉まっていた。最近ではジギングと呼ばれるルアーフィッシングが主流になっているのも要因の一つと思われます。

今年も竿を出すも、全く当たりもなく低調で、結局納竿の12時ころでハゼ:7尾、スズキ:2尾、ボラ5匹、魚名不明2尾の釣果(去年は36尾)でした。ハゼは開きに、スズキは3枚に卸し、松茸もどきでエリリングも天ぷらにして、小さな秋の匂と泡のある飲み物で乾杯。七夕のように、年に一度しか顔を合わす機会がない会員間の交流も滑らかになり盛り上がる。

(高桑 記)

教育部山行 芦屋川～風吹岩(ハイキング ABC 読図) 10月11日

CL 高桑, SL 松本光 参加9名

【場所】 六甲山系 風吹岩

【参加者】 CL 高桑, SL 松本光, 木村順, 児玉、北、横山, 石川

【コース記録】

08:00 阪急芦屋川駅－河畔公園－高座の滝－地獄谷西南稜－風吹岩－横池－  
高座谷－高座の滝－15:00 芦屋川駅

【目的】

近年では山行中の現在地はスマホなどで容易に知る事が出来るので、地図が読める意味を改めて考えた。山行準備をするときに地図を見て地形を想像する力をつけ、その地形を体感することで計画時に役立つことを留意した内容を試みた。昼食時に簡単なレスキュー講習も予定

【内容】

- ・コンパスの使い方 進むべき方向の設定方法を復習する
- ・地図と実際の地形の確認 各種の等高線の間隔の斜度を体験
- ・地図上で実距離や高度差を読み、その所要時間を予測、体験する
- ・登山道の表示外のコースで現在地を地形から読み取る。(GPS で検証する)

【感想】

昨年より机上の地図で山行が想像できる力をつけられるように意図した。急斜面や尾根、谷の現場では地図の表記と見比べる時間を取り、地形図の表記を実感することができたと思う。横池ではレスキュー講習としてツウェルトをテントにする、被り方、担架にするなどの実技もした。復路は六甲のマニアックな名物のだるま岩を見に行こうということで新たな道も体験しながらルートファインディングの講習もできました。

(高桑 記)

有志山行 愛宕山(ツツジ尾根ルート) 9月27日 CL 岩佐 参加5名

保津峡駅 9:15→登山口 9:20→荒神峠 10:45→ツツジ尾根→水尾分れ 12:20

→愛宕神社 13:00→愛宕山 13:30→水尾分れ 14:00→保津峡駅 15:40

愛宕山のメインルート表参道の「清滝」からは、何度か登った経験のある参加者全員が初めての「ツツジ尾根ルート」を歩きました。

登山口からいきなりつづら折りの急登でしたが、水尾の分れまでは、人も少なく爽やかな秋の風を感じながらの山行でした。次回は三つ葉つづじが満開の頃に歩きたいコースでした。

(島田 記)

有志山行 矢田丘陵 9月27日 CL 児玉 SL 平田 参加6名

JR 法隆寺駅 8:30 発→8:55 法隆寺南大門(体操) 9:15→斑鳩神社

→松尾寺 10:00 →松尾寺山頂 10:45 →国見台展望デッキ 11:05  
→矢田分岐 11:30 →矢田峠 → 11:55 矢田山頂展望台 (昼食) 12:20 発  
→榎木峠 12:55 →歓喜の湯・足湯 1:30 発 →近鉄南生駒 2:00 解散

起点が法隆寺ということもあり、歴史を感じる小道から丘陵を目指しました。よく整備されて、歩きやすくコロナで自粛された怠けた足には適度な刺激になりました。途中松尾寺手前の休憩でメガネを忘れご迷惑おかけして申し訳ございませんでした。少人数ということもあり、ゆっくりゆったり歩け、おまけに“換気の湯の足湯”で癒され、お天気も良く少し風もありさわやかなハイキングでした。  
(友田 記)

## 有志山行 千穂が峰・嶽の森山 10月6日～8日

CL 稲田(理) SL 島田 参加者 6名

10/6 森ノ宮 7:30 ⇒ 12:00 瀨峡 ⇒ 14:00 熊野速玉大社 → 14:30 神倉神社 → 15:25 千穂ヶ峯 → 16:10 熊野速玉大社 ⇒ 17:30 ぼたん荘 (泊)

10/7 ぼたん荘 8:00 ⇒ 9:20 登山口 → 10:15 植魚の滝 → 10:50 ハリオの滝 → 11:40 登山口 ⇒ 道の駅一枚岩(昼食) ⇒ P13:12 → 登山口 13:20 → 13:50 ナメトコ岩 → 14:15 嶽の森山(雄岳) → 14:40 嶽の森山(雌岳) → トウフ岩 → 15:50 相瀬橋登山口 → 道の駅一枚岩 P ⇒ 16:30 ぼたん荘 (泊)

10/8 ぼたん荘 8:30 ⇒ 大島 ⇒ 潮岬 ⇒ 16:00 森ノ宮 解散

1日目：熊野速玉神社千穂が峰へは、神倉神社の鳥居から見上げる、なかなかワイルドで急な石段から始まる。しっかりとした道標はあったが道はそれなりに注意の必要な箇所もあった。当日、急に星空観察に行く事が決まり、天の川ほか沢山の星を見ることが出来た。2日目：植魚の滝、ハリオの滝までは全て沢沿い歩きなので何度も渡渉を繰り返した。植魚の滝は実に神秘的な場所にあり、洞窟？ゴルジュ？すぐ手前5m～10mまで来ているのに、滝はまだ見えない。ここで水量が多かったのが念のため一旦靴を脱ぎ、歩いた。滝が見えた瞬間は感動！ハリオの滝は、大きく深い滝つぼがあり、エメラルドグリーン。日差しが差し込めば、滝にかかる虹が有名ならしいが、この日は見れなかった。2日目昼から関西100名山「嶽の森山」へ。道の駅一枚岩(その名の通りの巨岩)Pから歩く。歩行距離、時間共に短いが変化に富み飽きる事の無い楽しい山だった。特に雌岳へのピストンはロープを使っでの登り下りがあり面白かった。3日目：台風接近の為、古座川上流のダムの放流が始まりカヌー体験は中止になったが、荒波が立ち始める大島でトルコ船海難場所や海金剛などを観光し、より記憶に残せる気がした。バラエティーに富む3日間の企画に感謝します。  
(願野 記)